

平成 17 年度における大規模新規研究開発の事前評価について

平成 17 年 11 月 4 日  
評価専門調査会

総合科学技術会議では、「総合科学技術会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価について」（総合科学技術会議決定）に基づき、新たに実施が予定される国費総額が約 300 億円以上の研究開発（以下「大規模新規研究開発」という。）の評価を実施しており、この際、あらかじめ評価専門調査会が、必要に応じて専門家・有識者を活用し、府省における評価結果も参考として調査・検討を行い、その結果を受けて総合科学技術会議が評価を行うこととしている。

このたび、平成 18 年度予算の概算要求において、「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用」、「X線自由電子レーザーの開発・共用」並びに「戦略的基盤技術高度化支援事業」の 3 件が大規模新規研究開発の要件に該当したため、専門調査会において調査・検討を実施した。

その結果は、『総合科学技術会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用」について（案）』、『総合科学技術会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価「X線自由電子レーザーの開発・共用」について（案）』並びに『総合科学技術会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価「戦略的基盤技術高度化支援事業」について（案）』のとおりであり、本案を総合科学技術会議による評価の結果として決定し、関係大臣に意見具申することについて審議いただきたい。